

独自のキャビネット構造など上級機の技術を投入した期待のベーシックモデル

Hearing & Text by
井上 千岳
Chitake Inoue

Photo by 田代法生

Consensus Audio Engineering (コンセンサス・オーディオ・エンジニアリング)は、オーストリアの新進スピーカーメーカー。創設者のStefan Fekete氏は数々のハイエンドスピーカーを手がけたエンジニアであり、流体力学と機械工学のスペシャリスト。Bogenは(ボーゲン)は、上級機であるLightning SEをベースに、スリム化が図られたモデル。独自のエアフロー・テクノロジーに基づいたエンクロージャーが採用されている。

●本機の背景と概要を知る 楽器の発音構造に流体力学を 応用した独自のエンクロージャー

コンセンサス・オーディオ・エンジニアリングの創立者、シユテファン・フェークト氏は優れた設計者として知られる人物で、数々の著名メーカーのためにスピーカーの設計を行ってきた。自身のブランドでは2ウェイフロア型から2ボックスタイプの4ウェイフラッグシップまで数種のモデルがリリースされ、そのうち我が国では3ウェイの大型機マグマと2ウェイのライトニングSEを取り扱っている。本機は日本で3機種目となるベシックな製品だ。

フェークト氏はウィーン工科大学で機械工学と流体力学を修めている。こうした経歴から生まれたのが、楽器の発音構造に流体力学を応用した独自のエアフロー・テクノロジーである。

スピーカーのエンクロージャーには、密閉型、バスレフ型、後面開放型などがある。ドライバーに負荷のかからないのが後面開放型だが、低効率の現代ユニットには適切ではなさそうだ。密閉型とバスレフ型は、なんらかの形でドライバーに負荷をかける。つまり背圧である。バスレフポートが空気抜き穴ではなく、振動板背後の空気を使って低域を増強する仕組みであることは、ご承知であらう。

これらの負荷は、当然ドライバーの動作に影響を与える。

エアフロー・テクノロジーは、おそらく前記のどれにも属さない。内部の不要音響つまり音波を流体として捉え、これを滑らかに出口まで導いて外部に放出する。このためエンクロージャーは流線型に造形され、背面にスリット状の開孔部を設けている。これによって内部の不要反射はドライバーに悪影響を及ぼすことがなく、吸音材などを一切使用せずにダンピングを施すことが可能だ。

ドライバーには全て、ティール&パートナー社のセラミックユニットが採用されている。これは全モデルに共通する仕様で、ボイスコイルの奥行を伸ばして耐入力を上げるなどのカスタム化を行っている。またクロスオーバーネットワークには独ムンドルフ社製のパーツを使用し、左右の誤差を±0・25dB以内に抑えるよう精密に選別しているという。

本機はトゥイーターとウーファー2基による2ウェイ構成。ライトニングSEに比べてウーファーを小口径化し、3パラレルから2パラレルとするなど軽量化を図ったモデルである。

●本機の音に触れる 立ち上がりが速く シャープで無駄のない音調

上級機よりもむしろユニット間のまと

まりがよく、凹凸のないつながりの滑らかさを感じる。立ち上がりも速く、シャープで無駄のない音調だ。なんといつても高域へ鋭く伸びるきめ細かな再現性が身上といつてよく、それが本機で最もよく生きているように思う。

アカベラではソプラノがいいように伸び上がり、艶やかで華麗な響きをいつぱいに漂わせている。そこに棘つばさがなく、耳に痛い感じが残らないのは、歪みが巧みに抑えられているせいかもしれない。またハーモニーも重なり方が鮮やかで、アンサンブルが生きていて、華やかな味、ナチュラルな伸びやかさに、華やかな味わいを加えた印象だ。ピアノもオーソドックスなバランスで、レスポンスが均一

に保たれ、繊細なニュアンスを振り撒いている。広いレンジにわたってタッチに芯があり、意外にスケールの大きな再現性だ。響きの奥行きや前後の感触がよく出て、音場が立体感豊かに描かれる。

オーケストラは楽器の位置感がよく、それだけでも空間の実体感が明快だ。木管やピチカートの手触りも非常にリアルだが、低音弦や大太鼓がにしみなく沈み、透明だが腰の落ちが響きを生み出す。トゥッティは分離がよく、いつそう鮮烈だ。ジャズもスピードが速く、ドラムやベースが混濁なく分離する。芯の強いピアノや鮮やかなシンバルなど、音色が多彩で弾みがいい。斬新な発想に基づく再現性は、正確で現代的である。

DETAILS Bogen



こちらもオプションとなるオリジナルスパイクセット(¥262,500)。スパイク8個と、硬度の違う3種類の受け皿が各8個のセットになっている



オプションの1.0インチダイヤモンドウーター(¥1,050,000/ペア)。装着は注文時のみで、購入後交換することはできない



Consensus Audioオリジナルのスピーカーケーブル(¥483,000、2.5m×2)。独自の「マグネティック・フィールド・ケーブル」と称するモデルで、端末はYラグ処理がなされている

Specifications

【Bogen】 ●型式:2ウェイ エアフロー・ダンピング ●キャビネット:共振制御合板(ぶな材複合貼り合わせ) ●ユニット:5.5インチ・セラミック・ミッドウーファー×2、1.0インチ・セラミック・トゥイーター×1 ●クロスオーバー:2.5kHz ●インピーダンス:5Ω ●能率:91dB ●周波数特性:30Hz ~ 32kHz (-3dB) ●サイズ:250W×980H×420Dmm ●質量:30kg ●取り扱い:ラックスマン(株)



Bogen
CONSENSUS AUDIO / スピーカーシステム
¥1,575,000(ペア)